

令和7年度入学用

〔小中高一貫教育校〕

東京都立立川国際中等教育学校附属小学校

TOKYO METROPOLITAN TACHIKAWA KOKUSAI P-12 SCHOOL
SCHOOL GUIDE



ようこそ「チーム立国」へ

Welcome to "Team Tachikoku"



校長
よこ た ま ひろ
横田 雅博

挑戦者となって共に歴史と伝統を

これから しょうがくせいになる みなさん こんにちは。
わたしたちの がっこうには いちねんせいから さんねんせいまでの せんぱいがいます。
なかまを たいせつに がっこうせいかつを おくっています。わたしたちは ひとつの
ちいむです。
みんな いっしょに がっこうを もっと たのしく すてきな ばしょに するために
いろいろな ことに ちょうせんして います。
それは じめんを しっかりと ふみしめて わたしたちの あしあとを つけていく
ぼうけんです。
みなさんも はるになったら「ちいむ たちこく」のなかまに なって いっしょに
わくわくする ぼうけんに かけましょう。
ごうるは みなさんと みなさんの まわりのひとの しあわせです。
みなさんにおあいする ひを たのしみに まって います。

私たちの教育の究極の目的は「自立」です。

右の図に示している教育理念は、本校の存在意義であり、目指す教育の理想です。その理想を達成するために必要な教育内容や教育方法を、教育理念と生徒の将来像から俯瞰し、逆向き設計でデザインしています。

私たちは開校後も学校を創っています。私たちが創るのは、「小学校」ではなく、「12年間一貫教育校における小学校段階」です。本校についてご説明する時は、12年後にあるべき姿を見通した視点にたってお話しします。

本校では、知育、徳育、体育の調和の取れた育成を目指し、本校で学ぶお子様が人格を陶冶し、自立した学習者となって、勇気をもって自ら道を切り拓き、より広い世界へ羽ばたいてほしいと考えています。本校で身に付けた資質・能力を思う存分に発揮して、卒業後も学び続け、よりよい世界の構築に貢献してほしいと期待しています。私たちも常に学び、全力でお子様と関わります。

私たちの学校は歴史と伝統をつくっていく学校です。

私たちの学校は、児童・生徒と保護者の方と共に「学びの共同体 (Professional Learning Community: PLC)」となって、歴史と伝統を一緒につくっていく学校であり、お子様も保護者の方も私たちが開拓者です。私たちの学校には、理想形、完成形を目指し、チーム力を高め、創造し、共に挑戦する感動と喜びがあります。それは、かけがえのない貴重な経験です。1～3期生、私たち教職員と共に前向きに、楽しみながら取り組んでいただけるお子様と保護者の方をお待ちしています。ようこそ、「チーム立国」へ！

令和6年 横田雅博

私たちの目指す学校

教育理念

次代を担う児童・生徒一人一人の資質や能力を最大限に伸ばさせるとともに豊かな国際感覚を養い、世界で活躍し貢献できる人間を育成する。

生徒の将来像 (卒業後の姿)

高い言語能力を活用して、世界の様々な人々と協働するとともに、論理的な思考力を用いて、諸課題を解決し、様々な分野で活躍する人材

卒業時 (12年後) の生徒像

高い言語能力や論理的思考力、深く探究する力を身に付け、多様な人々と協働する人になるとともに、身に付けた資質・能力を活用し、国際社会の平和と発展に寄与しようと、様々な分野へ踏み出す人

【思考力】と【行動力】

自ら課題を認識し、論理的に考え、判断し、行動できる力を育てる。

【自他理解力】と【貢献力】

日本の伝統・文化を理解し尊重するとともに、多様な価値観を受容し、主体的に国際社会に参画する力を育てる。

【語学力】と【言語能力】

世界で通用する語学力を育み、それを支える言語能力を向上させる。

【協働力】と【革新力】

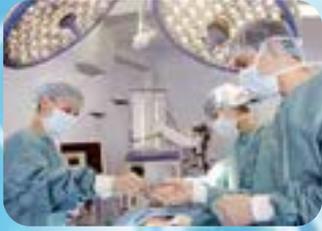
異学年との学習活動や地域連携、国際交流を通じて、他者を思いやり、協働して新しい価値を創造する力を育てる。



P-12 GRAND DESIGN

— 小中高一貫教育のグランドデザイン(教育の全体構想) —

Be brave. Reach for the world.



目指すべき生徒像(卒業20年後の生徒の姿)

高い言語能力を活用して、世界の様々な人々と協働するとともに、論理的な思考力を用いて、諸課題を解決し、様々な分野で活躍する人材



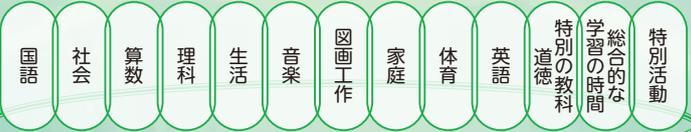
目指すべき生徒像(12年後の生徒の姿)

高い言語能力や論理的思考力、深く探究する力を身に付け、多様な人々と協働する人になるとともに、身に付けた資質・能力を活用し、国際社会の平和と発展に寄与しようと、様々な分野へ踏み出す人



目指すべき児童像(6年後の児童の姿)

基礎的・基本的な言語能力や論理的思考力、探究的に学ぶ力を身に付け、多様な人々と協働する人になるとともに、身に付けた資質・能力を活用し、世界を視野に入れ、社会の平和と発展に寄与しようと、地域社会の活動に参画する人



各教科等における目指す児童像



探究的な学び

3 学びに向かう力、人間性等

- ①思考のプロセスを客観的に捉える力(メタ認知)
- ②多様な人々と協働する力
- ③人や社会に貢献する行動力
- ④自立した学習者となるための自己管理能力

語学力とそれを支える言語能力

1 知識及び技能

- ①教科・領域における幅広い知識・技能
- ②概念の理解と技能の熟達を支える言語能力
- ③論理的に考えるための方法

育成すべき資質・能力

2 思考力、判断力、表現力等

- ①批判的な見方を働かせて、情報を吟味し、考える力
- ②知識を関連付け、根拠に基づいて探究する力
- ③日本語と英語を活用して発信する力

学びを実践する学校行事

多様な外部機関との連携

グローバルに考えるキャリア教育・進路指導

自立を促す生活指導

グローバル:地球規模の視野と地域の視点で考え行動すること



校章



附属小学校



中等教育学校

本校の設置及び校名の由来に基づき、都立立川国際中等教育学校の校章を基調としています。同校の校章は、母体校である都立北多摩高等学校の校章の基本的デザインを継承し、地球を、鳥の羽にかたどった月桂樹で囲み、学校名のイニシャルであるT(立川)とK(国際)を配しており、教育目標に基づき、国際社会に貢献できるリーダーとして世界に羽ばたくことを期したものです。附属小学校は、この校章に込められた精神と基本デザインを引き継ぎ、更に、公立としては全国初となる12年間一貫教育校生としての自覚と誇りをもてるよう、小中高一貫教育を表すP-12を加えました。

カラーの校章については、本校の教育理念をイメージする青と緑を基調としています。青は、国際社会で活躍する人材となるべく世界に向けて飛び立つ際の澄み切った青空を、緑は、そういった人材となるために知・徳・体を十分に耕して強く芽吹くその新芽を、それぞれ表しています。

なお、小学校という発達段階を踏まえて、月桂樹のボリュームを中等教育学校と変えています。中等教育学校進学後には、より一層豊かな葉を付けて、大空へ伸びていくという可能性とそうなるほしいという願いを込めています。

校歌

作詞・作曲 北多摩高等学校
作詞校閲 下總皖一

一 紫匂ふ武蔵野に
富士の高嶺を仰ぎつつ
師弟の道もうるはしく
この学びやにつどひきて
知徳を磨きわざをねる
われらの幸ぞたぐひなき

二 朝な夕なに多摩川の
清き流れをのりとして
勉学友愛勤勞の
をしへ守りて励み合ひ
まことを求めて一すじに
平和の道を進まん

附属小学校の歌

作詩・作曲 青島広志

武蔵野台地の春 わたしの季節も春
わたしたちの過す十二年
そのはじめの六年
立国には大勢の先生や友達がいる
そう みんなで未来をひらいてく
わたしたちのための未来を

まぶしい陽の光は 一日の始まりだ
多摩川や駅前のごわめきが
一日中間こえる
土の上の足あととは私の生きてきたしるし
さあ みんなで確かな一歩を
立国の庭から踏み出そう
世界は立国から あなたも立国から
広い地球にはばたいてゆく
学んできたことばで
わかり合えることもあれば
わかり合えないこともある
でも その日が来るのを信じよう
ほほえみのあふれるそのときを
世界へのとびら

東京都立立川国際中等教育学校
附属小学校

制服

本校の教育理念をイメージする紺と緑を基調
いきいきと活動できるデザイン
小中高一貫教育校としての自信と誇りをもち
清潔な身だしなみを心掛け、正しい着こなしをします。



基準となる服装

制帽 ジャケット
ハーフパンツ
ラップキュロットスカート
ネクタイ 長袖シャツ

夏季

制帽 ハーフパンツ
ラップキュロットスカート
半袖シャツ
もしくは
指定の半袖ポロシャツ

ランドセル



- 色：黒色・無地
 - 「キューブ型」又は「学習院型」
※A4フラットファイル対応サイズ
- ランドセルはご家庭でご準備いただきます。透明の校章入りランドセルカバーをかけます。その他ウェブサイトでご確認ください。

体育着



- 本校指定の白色半袖シャツ、
 - 紺色のハーフパンツ、
指定する仕様の紅白帽
- ※防寒のために指定したジャージ上下を着用することができます。(10月～3月)

研究指定校

教育課程特例校（文部科学省）

小学校第1学年から「英語科」を設置し、授業を週4時間実施します。低学年では、授業の内1時間は、「Eタイム」として、週3回、朝15分に分割して行います。

外国人指導者と共に、児童の発達段階に応じて、段階的に英語による聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り・発表〕、書くことの基礎から学びます。テキストは、東京都教育委員会が本校用に作成したもののほか、文部科学省や東京都教育委員会の教材、教科書、CD、絵本等も活用して発展的な学習をします。



▲東京都教育委員会作成テキスト
(1年生用)

学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
英語科の標準授業時数	136	140	140	140	140	140

「海外学校間交流推進校」（東京都教育委員会）

グローバル人材育成の一層の促進を図るため、姉妹校交流をはじめとした、海外の小学校等との交流活動を積極的に推進していきます。

[姉妹校締結 ※予定校含]

- オーストラリアクイーンズランド州立
レッドリンチカレッジ (Redlynch State College)
- ベトナム・ハノイ市
グエンシュースクール (Nguyen Sieu School)
- スリランカ・コロンボ
アソカカレッジ (Asoka College)
- 台湾・台北市 台北市立新生國民小学校



▲台北市立新生國民小学校訪問



▲Colombo Asoka College訪問

「体育健康教育推進校」（東京都教育委員会）

本校は、知育、徳育、体育を調和よく育成する学校を目指しています。あらゆる活動の基本となる体力や健康づくりは、本校の教育の根幹を支えるものであることから、健康的かつ活発に学校生活を送るために必要となる体力向上及び健康的な学校生活を送るための基盤づくりに取り組みます。柔道の要素を取り入れた様々な動きや力試しの動きなどを通じて体幹を鍛え、児童の体力の向上を図ります。

また、「礼法」を学び相手を尊重する気持ちを育成します。

安全教育推進校（東京都教育委員会）

本校は、児童に危険を予測し回避する能力や、他者や社会の安全に貢献できる資質や能力を育成するため、家庭や地域、関係機関と連携し、問題解決的な安全教育を推進します。

「災害安全」については、大震災を想定した児童の登下校時を想定した教員のシミュレーション研修を実施するとともに、防災訓練専門家を招聘し、災害安全推進に係る講演会（保護者対象）を実施し、地震発生時の行動、地震直後の行動、地震後の行動、避難の判断等を学校と家庭で共有します。また、学校独自の行動マニュアル「たちこくぼうさい」を使い、登下校中の交通機関利用時に地震が発生した場合の安全行動について、児童と保護者が共有します。



「デジタルを活用したこれからの学び」研究校

(東京都教育委員会)

東京都教育委員会は、予測困難な時代において、よりよい変化を起こそうと自分で課題を設定し、振り返り、責任をもって行動する力の育成に向け、デジタルを活用したこれから求められる授業デザインに関する研究を行う研究校を指定しています。本校は、自ら見通し（学習計画）を立て、他者と協働しながら調べ、考え、自分なりの答えを導き出すような主体的な学びを推進していきます。

まなぼう なかまと まなぼう じぶんから

Be communicators Be Independent

教育課程 概要

小学校、中学校、高等学校段階をそれぞれ円滑に接続し、発展させるために教育内容の節目を工夫して論理的思考力を高めるとともに、異学年や異文化経験者等と交流し、国内外で様々な体験活動を行います。

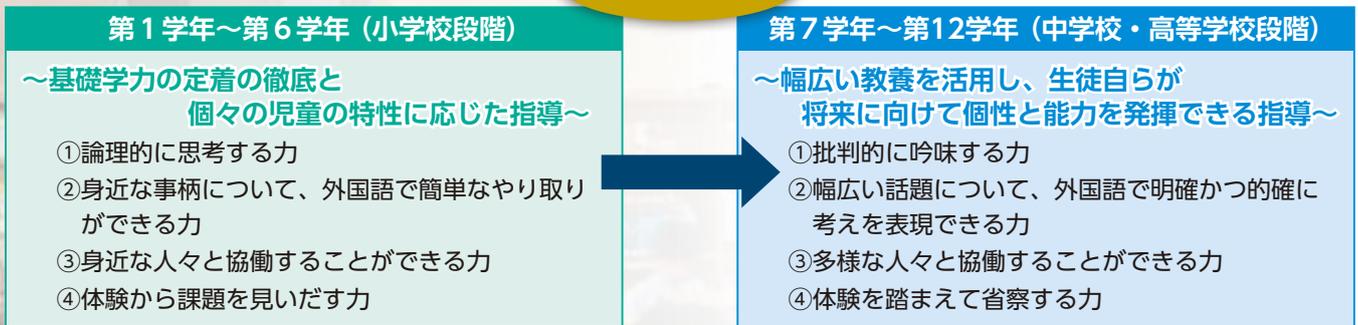
教育課程は変更になる場合があります。

【一貫性の考え方】 12年間で3フェーズをつないで『目指す生徒像』へと成長します。



第7学年から、新たな仲間が加わり、1学年160名のチームになります。「芽吹き」、「花開く」ために、この「耕す」期間が重要です。

育てたい力



3つの特色

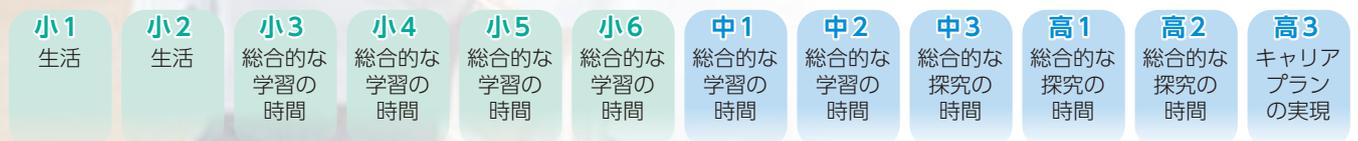
特色 1

探究的な学び

考える方法を知り、根拠に基づいて思考する力の向上
教科等における探究的な学びと独自の探究プログラムの実施



【探究プログラム：立国LEADERプログラム】



小学校段階						中学校・高等学校段階					
第1フェーズ						第2フェーズ		第3フェーズ			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
体験から「なぜ」を発見 →リサーチクエスト (RQ) の基礎作り						●RQの基礎作り、検討、設定 ●「自然科学」「人文社会」の両分野について探究的な学びを実践 →探究的な学びのプロセスの体験		●人間の在り方 生き方を探究 ●国内の課題を探究 ●世界の課題を探究 →LAP※で実践		●国内外で発信 ●進路実現に活用	
「考える技」、「調べる技」、「表現する技」等の学び (初級→中級→上級)						日本語・英語で論文作成					

※LAP：リーダーシップ・アクションプログラム (Leadership Action Program)

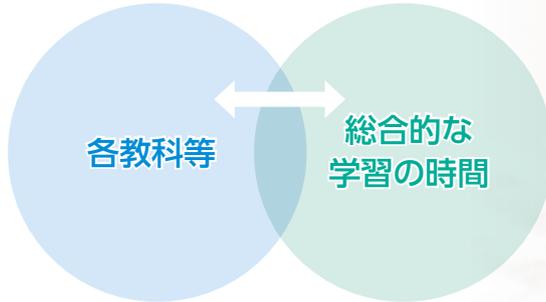
全員が海外で研究、インターンシップ、ボランティア等の活動に参加します (国内研修と成果発表を含めて3か月間程度実施予定)。

小学校段階の探究的な学び

『探究の技』の整理・蓄積・更新・活用



各教科等の学びにおいて身に付けた見方・考え方を「探究の技」とし価値付け
→整理・蓄積・活用・更新

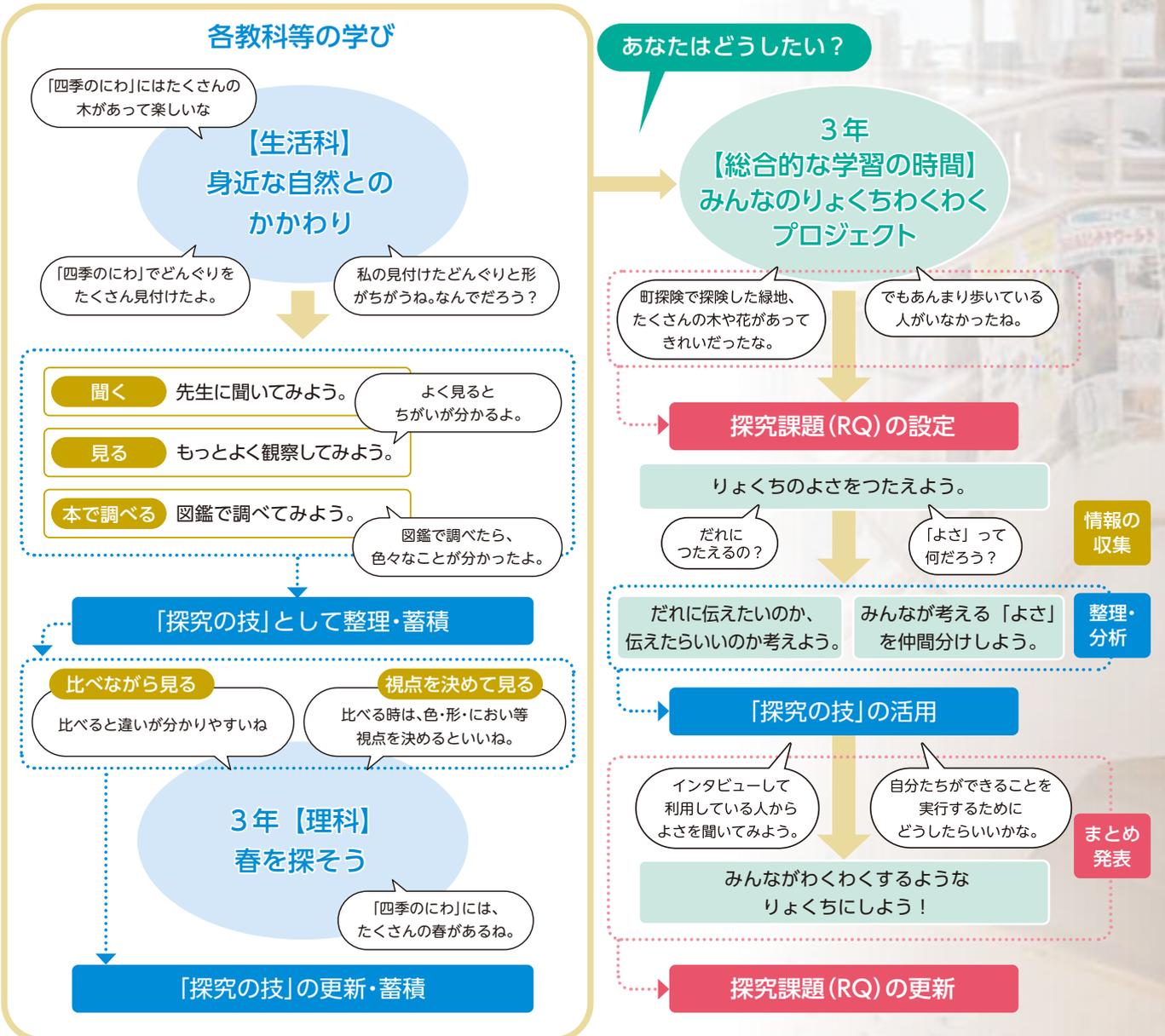


「探究の技」を活用し、自ら見いだした課題を解決し、探究的な学びを実践

考える技	並べる	比べる	わかる	結び付ける	見通しを立てる	...
調べる技	理由をつけて調べる		多面的に調べる		根拠を見付けるために調べる	...
表現する技	差異や共通点をまとめる		整理してまとめる		構造的にまとめる	...

探究的な学びの例

各教科等の学習 → 3年総合的な学習の時間 「みんなのりよくちわくわくプロジェクト (例)」





- 第1学年から週4時間の英語の授業を実施、義務教育の9年間で通常の学校より1000時間以上多く外国語を学習
- 英語を実践する機会や第二外国語にふれる機会として、東京都教育委員会のプログラムを活用

プログラム例

※令和6年度現在のものであり、変更になる場合があります。

次世代リーダー育成道場



国内事前研修で様々なことを学び、その成果をもって留学にチャレンジする都立高校生等を支援するプログラム。このプログラムをとおして、世界を舞台に活躍する国際感覚豊かでたくましい若者を東京から輩出していくことを目的としている。



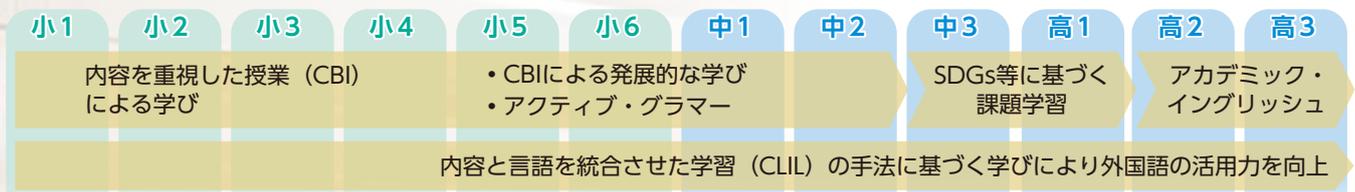
東京体験スクール

より多くの都立高等学校等において、在籍する生徒が日本にいながら国際交流機会を得られ、国際理解を深めることができるよう、海外からの留学生の受入拡大を推進している。

※「Tokyo Portal for International Education（国際教育・東京ポータル）」へのリンクです。「留学生の受入拡大」の頁をご覧ください。



語学力（外国語教育）



小学校段階						中学校・高等学校段階							
第1フェーズ						第2フェーズ			第3フェーズ				
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
短時間学習（Eタイム） ※全校種を通じて少人数や習熟度別の指導を工夫													
英語教育													
<ul style="list-style-type: none"> ● 専科教員や外国人指導者、JETプログラムを活用した授業 ● 聞く・話すなど体感する授業から、読み・書きを取り入れた授業へ ● ICTの活用による海外姉妹校との交流 						<ul style="list-style-type: none"> ● 英語によるプレゼンテーション 			<ul style="list-style-type: none"> ● 英語によるディベートや論文の作成 				
多言語教育「マルチリンガルスタディⅠ」出合う						多言語教育「マルチリンガルスタディⅡ」深める							
<ul style="list-style-type: none"> ● 特別活動等で様々な言語と出会い、言語のおもしろさにふれる。 ● 自分とは異なる人々、暮らしや文化があることを知る。 ● 児童会やクラブ活動で学びの場を広げる。 						<ul style="list-style-type: none"> ● マルチリンガルスタディⅠの学びを参考に、より知りたい言語を第二外国語として選択し、授業で深める。 ● 様々な機会を捉えて実際に活用してみる。 							
《到達目標の目安》						英検3級レベル		英検準2級レベル		英検2級レベル		英検準1級レベル	

第2学年からはケンブリッジ英検を実施
東京外国語大学と英語の成果検証を実施

言語能力

小学校段階						中学校・高等学校段階					
第1フェーズ						第2フェーズ			第3フェーズ		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
● 国語や生活を中心に主として体験と言葉をつなぐ活動		● 国語や算数、理科を中心に主として論理的に文章を読んだり考えたりする活動		● 国語や算数、理科を中心に主として多面的に追究する活動		● 地域調査、文献調査基礎 ● 特別講師による指導、助言 ● 理数分野等における発展的学習		● 地域調査、文献調査発展 ● 特別講師による指導、助言 ● 理数分野、人文社会分野等における発展的学習 ● 探究プログラムの企画、実行		● 研究成果の発信（日本語・英語） ● 論文作成（日本語・英語）	
											

グローバルマインドセット・カリキュラム

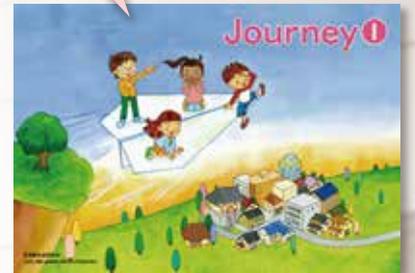
英語教育、マルチリンガルスタディ I・II、LAPの3つを相互に関連付け、グローバル人材としての素地を育成

	小学校段階						中学校・高等学校段階					
	第1フェーズ						第2フェーズ		第3フェーズ			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
英語教育	内容を重視した授業（CBI）による学び 内容と言語を統合させたCLIL的な学習					アクティブ・グラマー CLIL		SDGs		アカデミック・ イングリッシュ		
多言語教育	様々な言語と出会い、様々な人々、暮らしや文化があることを知る。					学びたい言語を選び、深める。		実際に活用してみる。				
LAP	立国LEADERプログラム（生活→総合的な学習の時間→総合的な探究の時間）の内のLAP											

小学校段階の英語教育について

- 低学年では、Journey（東京都教育委員会が本校用に作成したテキスト）を使用して、外国人指導者と共に「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと〔やり取り〕」、「話すこと〔発表〕」、「書くこと」の基礎から学びます。
 - ・初めは「聞くこと」を重視します。
 - ・音声十分に慣れ親しんで「話すこと〔やり取り〕」に取り組みます。各ユニットの最後に「話すこと〔発表〕」活動を行います。
 - ・「書くこと」は徐々に学びます。
- 2学級を4展開して少人数の指導をします。
 - ・標準クラスと発展クラスの習熟度別2コースを設定します（2年生からは応用クラスも設定）。Journeyの他に欧米の実践を参考にして厳選した洋書も活用します（洋書の使用割合はクラスによって異なります）。
 - ・クラス分けは、授業時の様子や定期考査の結果等をもとに行います。
- 低学年では週4時間の英語の授業の内1時間は、「Eタイム」として週3回、朝15分に分割して行います。
 - ・テキストを活用して復習（補充）や予習をします。
 - ・フォニックス（※）を学習します。
 - ※「英語の綴りと発音の規則性を学び、英語を正しく読めるようになるための学習方法」
 - ・文部科学省や東京都教育委員会の教材、CD、絵本等も活用して発展的な学習をします。

CLIL的な学習ができるよう他教科等との関連を意識したテキスト（1年生）



▲表紙

多言語教育「マルチリンガルスタディI」出会うについて

中学校・高等学校段階で、自分の将来の生き方を視野に入れた言語選択や、言語や国に対する深い興味・関心に基づいた、積極的・主体的な言語選択につながるようにします。

東京外国語大学や中央大学等と連携して、月ごとに6言語を学習（予定）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	韓国語		中国語			ドイツ語	スペイン語	フランス語			アラビア語	
学年ごとに、教科等に関連したテーマを設定して学習します。	1年生	【体験重視】 遊び・スポーツ・（歌・ダンス）										
	2年生	【体験重視】 食生活 ※給食とコラボレーション										
	3年生	【体験重視】 衣服（民族衣装）・年中行事										
	4年生	学校生活										
	5年生	地理（自然）										
	6年生	地理（産業）										

- 月1、2時間程度実施します。毎時間、挨拶を含み、国際理解とともにテーマに関連する音声言語と文字言語に出合います。
- 年1時間（8月か1月）、全校でその他の言語にふれあう機会を創出します。その際はテーマ（地域等）を決めて言語を選択し、必要に応じて「チーム立国人材バンク」（※）に登録した保護者の方にもご協力いただきます。
 - ※様々な教育活動に保護者の方のキャリアを生かして、教育活動の充実を図るために設置する組織。